

EMD 技術資料

シズン上腕式血圧計 CHUG シリーズは、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMD (電磁妨害) 規格、IEC 60601-1-2:2014+A1:2020 に適合している装置です。EMD 規格は、医用電気機器に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器 (携帯電話等) が発生する電磁波から受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。IEC 60601-1-2:2014+A1:2020 (5.2.2 項) において、機器が安全に機能するための EMD 環境に関する詳細な情報を使用者に提供することが求められているため、技術的な説明を以下に記載します。(詳細は、IEC 60601-1-2:2014+A1:2020 をご参照ください。)

本製品をお使いいただく際には、医療機器添付文書および取扱説明書をよく読んでお使いください。

EMD (電磁妨害) とは

EMD (電磁妨害) とは、電子機器の性能を低下させる可能性のある電磁現象のことです。医用電気機器には、次の二つの事項を満たす能力が要求されます。

- ・周囲の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。(エミッション)
- ・周囲の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。(イミュニティ)

EMD (電磁妨害) にかかわる技術的な説明

医用電気機器は、EMD に関して特別な注意を必要とし、次に記載する EMD の情報に従って使用する必要があります。

警告

- ・本機器は電磁妨害 (EMD) に関して、特別な注意が必要であり、EMD 技術資料に記載された EMD 情報にもとづいて使用しなければなりません。
- ・携帯および移動無線周波 (RF) 通信機器により本機器は影響を受けることがあるので、30cm 以上離して使用することが望ましい。
- ・本機器は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないこと。
- ・アクセサリ / オプション品は、弊社の指定品を使用すること。指定品以外のアクセサリ / オプション品を使用すると電磁放射波 (エミッション) が増加したり妨害に対するイミュニティが低下したりすることがある。

表 1 - ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁エミッション -

ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁エミッション		
エミッション試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス
RF エミッション CISPR11	グループ1	シズン上腕式血圧計 CHUG シリーズは、内部機能のためだけに RF エネルギーを使用している。従って、その RF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RF エミッション CISPR11	クラス B	シズン上腕式血圧計 CHUG シリーズは、家庭用施設および家庭目的に使用される建物に電力を供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続された施設を含むすべての施設での使用に適する。
高周波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A *	
電圧変動 / フリッカエミッション IEC 61000-3-3	適用 *	

*シズン上腕式血圧計 CHUG シリーズ (型番: CHUG340) は非適用。

表 2 - ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ -

ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV 接触 ±15 kV 気中	±8 kV 接触 ±15 kV 気中	床は木材、コンクリート又はセラミックタイルであること。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は最低30%であること。
電氣的ファーストトランジェント / バースト IEC 61000-4-4	±2 kV 電源ライン ±1 kV 入出力ライン	±2 kV 電源ライン* ±1 kV 入出力ライン*	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
サージ IEC 61000-4-5	±1 kV ライン-ライン間 ±2 kV ライン-接地間	±1 kV ライン-ライン間* ±2 kV ライン-接地間*	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
電源入力ラインでの電圧ディップ、短時間停電および電圧変動 IEC 61000-4-11	0% UT (0.5 サイクル) 0% UT (1 サイクル) 70% UT (25/30 サイクル) 0% UT (250/300 サイクル)	0% UT (0.5 サイクル) * 0% UT (1 サイクル) * 70% UT (25/30 サイクル) * 0% UT (250/300 サイクル) *	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。シズン上腕式血圧計 CHUG シリーズの使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合にはシズン上腕式血圧計 CHUG シリーズを無停電電源又は電池から電力供給することを推奨する。
電源周波数 (50 / 60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電力周波数磁界は、典型的な商用又は病院環境内の典型的な場所でのレベルにあること。

*シズン上腕式血圧計 CHUG シリーズ (型番: CHUG340) は非適用。
備考 UT は、検査レベルを加える前の交流電源電圧である。

表 3 - ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ -

ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
伝導 RF IEC 61000-4-6	3 Vrms (150 kHz ~ 80 MHz) * 6 Vrms (150 kHz ~ 80 MHz) 間の ISM 及びアマチュア無線帯域 *	3 Vrms 6 Vrms	携帯形および移動形 RF 通信機器は、シズン上腕式血圧計 CHUG シリーズのいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないこと。 推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$ 3 Vrms $d = 2 \sqrt{P}$ 6 Vrms
放射 RF IEC 61000-4-3	10 V/m (80 MHz ~ 2.7 GHz)	10 V/m	$d = 0.6 \sqrt{P}$ 80 MHz ~ 2.7 GHz ここで P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大出力電力であり、d はメートル (m) で表した推奨分離距離である。電磁界の現地調査 a によって決定する固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲 b における適合レベルよりも低いこと。 次の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が生じることがある。

*シズン上腕式血圧計 CHUG シリーズ (型番: CHUG340) は非適用。
備考1 80 MHz および 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。
備考2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝播に影響する。

a 例えは無線 (携帯 / コードレス) 電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM-FM ラジオ放送および TV 放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に論理的に予測することはできない。固定 RF 送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮すること。シズン上腕式血圧計 CHUG シリーズが使用される場所の正確な電磁界強度が、適用される RF 適合性が上記のレベルを超過する場合、正常通常動作を検証するためにシズン上腕式血圧計 CHUG シリーズを監視すること。異常な動作が発見される場合、追加の手段、例えば、シズン上腕式血圧計 CHUG シリーズの向き又は場所を変えることが必要となることがある。

b 周波数範囲 150 kHz ~ 80 MHz で、電磁界強度は 3 V/m 未満であることが望ましい。

表 4 - 携帯形および移動形 RF 通信機器と機器又はシズン上腕式血圧計 CHUG シリーズとの間の推奨分離距離 -

携帯形および移動形 RF 通信機器とシズン上腕式血圧計 CHUG シリーズとの間の推奨分離距離			
送信機の最大定格出力電力 (W)	150 kHz ~ 80 MHz 3 Vrms $d = 1.2 \sqrt{P} *$	150 kHz ~ 80 MHz 6 Vrms $d = 1.0 \sqrt{P} *$	80 MHz ~ 2.7 GHz $d = 0.6 \sqrt{P}$
0.01	0.12*	0.1*	0.06
0.1	0.38*	0.32*	0.19
1	1.2*	1*	0.6
10	3.8*	3.2*	1.9
100	12*	10*	6

上記以外の最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル (m) で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力である。
*シズン上腕式血圧計 CHUG シリーズ (型番: CHUG340) は非適用。
備考1 80 MHz および 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。
備考2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝播に影響する。

表 5 - ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ -

ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ						
試験周波数 (MHz)	周波数帯域 ^{a)} (MHz)	サービス ^{a)}	変調 ^{b)}	最大電力 (W)	距離 (m)	試験レベル (V/m)
385	380-390	TETRA 400	パルス変調 ^{b)} 18Hz	1.8	0.3	27
450	430-470	GMRS 460 FRS 460	FM ^{c)} ±5kHz 偏差 1kHz 正弦波	2	0.3	28
710, 745, 780	704-787	LTE Band 13, 17	パルス変調 ^{b)} 217Hz	0.2	0.3	9
810, 870, 930	800-960	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE Band 5	パルス変調 ^{b)} 18Hz	2	0.3	28
1720, 1845, 1970	1700-1990	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE Band 1, 3, 4, 25 UMTS	パルス変調 ^{b)} 217Hz	2	0.3	28
2450	2400-2570	Bluetooth WLAN 802.11b/g/n RFID 2450 LTE Band 7	パルス変調 ^{b)} 217Hz	2	0.3	28
5240, 5500, 5785	5100-5800	WLAN 802.11a/n	パルス変調 ^{b)} 217Hz	0.2	0.3	9

備考 イミュニティ試験レベルを達成するために必要な場合には、送信アンテナとシズン上腕式血圧計 CHUG シリーズとの距離を 1m にしてもよい。1m の試験距離は IEC 61000-4-3 で許容されている。
a) サービスによってはアップリンク周波数だけが含まれる。
b) 搬送波は 50% デューティサイクル矩形波信号を用いて変調しなければならない。
c) FM 変調の代わりとして、18 Hz での 50% パルス変調を用いてもよい。これは、実際の搬送波を表すわけではないが、最悪状態と考えられるためである。

表 6 - ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ -

ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ			
試験周波数	変調	イミュニティ試験レベル (A/m)	
30 kHz ^{a)}	CW	8	
134.2 kHz	パルス変調 ^{b)} 2.1 kHz	65 ^{d)}	
13.56 MHz	パルス変調 ^{b)} 50 kHz	7.5 ^{d)}	

備考:
a) この試験は、在宅医療環境で使用されることを意図するシズン上腕式血圧計 CHUG シリーズにのみ適用される。
b) 搬送波は、50% デューティサイクル矩形波信号を用いて変調しなければならない。
c) 変調をかける前の実効値 (r.m.s.)